

スーパーMC工法施工要領書

株式会社 オリエンテック

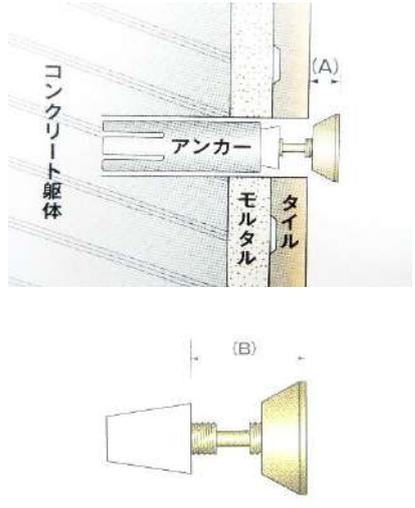
はじめに

通常、足場壁繋ぎアンカー工事では、解体時のアンカー跡をタイルの貼り替えやシーリング材（コーキング剤）等で充填し、穴埋めを行なった後、壁面に合わせて調色したタッチアップ剤で、タッチアップをしながら目立たないように仕上げます。工事直後は、あまり目立たなかった施工痕も経年劣化により、色の変化や欠損が生じ、建物の景観が損なわれてしまうことがあります。

スーパーMC工法は、スーパードリルで空けた下穴に、予め外壁と同色に塗装したMCキャップを挿入する事で、施工痕が目立たず、建物の景観を美しく保つことができる工法です。

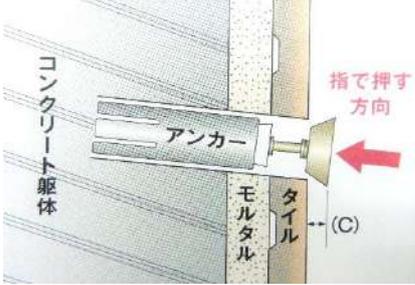
<p>必要材料</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・コーキング剤 ・シーリング材 ・モルタル のいずれか 	<p>ドリルで空けた穴をふさぐための防水材料。</p>
<p>必要工具</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・カートリッジガン 	<ul style="list-style-type: none"> ・アンカー痕からの水の侵入を防ぐため、しっかりとシールします。
	<ul style="list-style-type: none"> ・プラスチックハンマー 	<ul style="list-style-type: none"> ・マスキングキャップを挿入する際、表面の塗装にキズを付けないようにプラスチックハンマーを使用します。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ウエス 	<ul style="list-style-type: none"> ・穴からはみ出たシーリング材等を拭き取ります。
<p>前準備</p>	<p>①足場繋ぎアンカーの外径に合わせてキャップ（MC-16、MC-18）を選びます。 ②色合わせは、既存タイル現物又は、日本塗料工業会の見本帳に合わせて調色します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・納期 2 週間程度 ・既存タイルの色艶に合わせて（艶有・半艶・艶無）の 3 種類を選べます。 ・無塗装品もご利用頂けます。 ・特注サイズも出来ます。
	<p>マスキングキャップ</p>	

施工手順

<p>MCキャップ 長さ調整</p>	<p>MCキャップのアジャスター部を孔内のアンカー内部に軽く差し込み、アジャスターが止まった位置で、キャップの頭の部分がタイルから7～10mm程度外側に出るように(A)、ネジ部の長さ調整(B)をして下さい。</p> <p>その際、キャップ全体が奥に入りこまないように注意して下さい。</p>	
<p>MCキャップ 挿入</p>	<p>①長さ調整後、キャップを一旦抜き取り、水の侵入を防ぐためのシーリング材等を適量、充填します。(※シーリング材は、メーカーや成分系を問いませんが、シリコーン系は、施工後にシリコーンオイルが発生するため、キャップ周辺が汚れる恐れがありますのでご注意ください)</p> <p>②キャップを差し込みます。最初は、指で押しながら挿入し、入らなくなったら、プラスチックハンマーを使用し、キャップの平らな部分がタイル面と面一になるように、軽く叩き込みます。</p> <p>③タイル表面から、はみ出たシーリング材等は、ウエス等でしっかりと拭き取ります。</p> <p>※無塗装キャップの場合は、必要に応じて塗装して下さい。塗料は、金属用で耐候性の有るアクリルシリコーン系又は、シリコーン系塗料をお勧め致します。</p> <p>※シーリング材は、タイルの色と近い色を使用しますと、穿孔穴とキャップとの隙間が目立たなくなります。</p>	

【躯体に対し、アンカーが斜めに打ち込まれている場合】

施工手順

<p>MCキャップ 長さ調整</p>	<p>MCキャップのアジスタ部を孔内のアンカー内部に軽く差し込み、アジスタが止まった位置で、キャップの頭の部分のタイル面に近い箇所が、タイルから7～10mm程度外側に出るように(C)ネジ部の長さ調節をして下さい。</p> <p>その際、キャップ全体が奥に入りこまないように注意して下さい。</p>	
<p>MCキャップ 挿入</p>	<p>①長さ調整後、キャップを一旦抜き取り、水の侵入を防ぐためのシーリング材等を適量、充填します。</p> <p>②キャップを差し込みます。最初は、指で押しながら挿入し、入らなくなったら、プラスチックハンマーを使用し、キャップの平らな部分がタイル面と面一になるように、軽く叩き込みます。</p> <p>※ハンマーで打ち込む際は、図の様（キャップを叩く角度を、アンカーに対して垂直に打ち込むのではなく、タイル表面に対して垂直に打ち込み）にし、タイル表面とキャップが面一になるように意識して下さい。</p> <p>③タイル表面から、はみ出たシーリング材等は、ウエス等でしっかりと拭き取ります。</p>	